



## 平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月5日

上場会社名 フロイント産業株式会社  
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月5日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 (氏名) 伏島 巖  
 (氏名) 高波 裕二  
 TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	9,789	11.7	1,074	56.4	1,091	54.0	734	139.7
29年2月期第2四半期	8,762	13.8	687	245.6	708	181.1	306	147.8

(注)包括利益 30年2月期第2四半期 691百万円 (—%) 29年2月期第2四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	42.59	—
29年2月期第2四半期	17.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	19,122	12,532	65.5	726.74
29年2月期	19,101	12,185	63.8	706.62

(参考)自己資本 30年2月期第2四半期 12,532百万円 29年2月期 12,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年2月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△0.8	2,100	2.9	2,100	0.1	1,400	31.5	81.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ(4)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	18,400,000 株	29年2月期	18,400,000 株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	1,155,478 株	29年2月期	1,155,478 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	17,244,522 株	29年2月期2Q	17,244,546 株

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や、堅調な雇用・所得環境を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

一方で、米国の経済・金融政策運営の動向や、米国と北朝鮮を巡る地政学リスクなど、景気を下押ししかねないリスク要因があり、動向には引き続き留意が必要な状況にあります。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などにより、先進国を中心に成長が鈍化しており、新興国への市場移行やジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

また、政府によるジェネリック医薬品の使用促進政策により、ジェネリック医薬品業界の設備投資が活発化され、当社の業績に寄与してまいりましたが、今後、ジェネリック医薬品の薬価引き下げが顕在化し、設備投資が抑制される可能性があります。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発や、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高97億89百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益10億74百万円(同56.4%増)、経常利益10億91百万円(同54.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億34百万円(同139.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、ジェネリック医薬品業界の旺盛な設備投資意欲により、前期末の受注残高が過去最高の実績となったこともあり、売上は順調に推移し、売上高、営業利益ともに増加となりました。

この結果、売上高は71億71百万円(同25.9%増)、営業利益は8億68百万円(同53.1%増)となりました。

#### ・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される機能的添加剤は、ジェネリック医薬品業界向け等順調に推移し、売上高、営業利益ともに増加となりました。

食品品質保持剤は、積極的な営業展開を図り、売上高、営業利益ともに増加となりました。

また、当社技術を活用した栄養補助食品は、主要顧客の内製化の影響により、売上高、営業利益ともに減少しました。

この結果、売上高は、26億17百万円(同14.6%減)、営業利益は4億20百万円(同17.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ20百万円増加し、191億22百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が9億82百万円、商品及び製品が57百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が4億12百万円、電子記録債権が2億12百万円、仕掛品が5億70百万円増加したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億26百万円減少し、65億89百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務が1億3百万円、前受金が1億24百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億46百万円増加し、125億32百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ9億82百万円減少し60億円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、減少した資金は3億75百万円(前年同期は14億80百万円の増加)となりました。これは税金等調整前当期純利益10億89百万円、仕入債務の増加3億6百万円、減価償却費1億71百万円等の増加要因があったものの、売上債権の増加6億32百万円、たな卸資産の増加6億2百万円、法人税等の支払額4億60百万円、前受金の減少1億13百万円といった減少要因があった為であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は2億24百万円(前年同期は2億68百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の売却による収入8百万円の増加要因があったものの、有形固定資産の取得による支出2億28百万円等の減少要因があった為であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は3億68百万円(前年同期は2億47百万円の減少)となりました。これは主に配当金の支払3億43百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成29年4月5日の決算短信で発表しました通期業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,982,822	6,000,472
受取手形及び売掛金	4,282,766	4,694,962
電子記録債権	120,616	333,230
商品及び製品	404,081	346,833
仕掛品	1,712,294	2,282,752
原材料及び貯蔵品	649,160	715,412
前払費用	148,338	135,680
繰延税金資産	251,999	261,122
その他	400,079	255,451
貸倒引当金	△13,507	△13,250
流動資産合計	14,938,653	15,012,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,160,332	1,115,661
土地	1,239,987	1,239,591
その他(純額)	834,614	864,412
有形固定資産合計	3,234,934	3,219,665
無形固定資産	55,836	32,524
投資その他の資産		
繰延税金資産	15,073	22,404
その他	862,443	840,183
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	872,116	857,188
固定資産合計	4,162,887	4,109,377
資産合計	19,101,540	19,122,046
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,019,656	2,354,937
電子記録債務	1,038,971	934,994
未払法人税等	477,303	383,675
前受金	1,831,994	1,707,857
賞与引当金	260,416	231,973
役員賞与引当金	85,400	42,000
その他	878,731	600,906
流動負債合計	6,592,473	6,256,345
固定負債		
退職給付に係る負債	201,812	207,850
資産除去債務	34,824	34,901
その他	87,072	90,699
固定負債合計	323,709	333,451
負債合計	6,916,182	6,589,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	10,286,711	10,676,324
自己株式	△201,361	△201,361
株主資本合計	12,410,463	12,800,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,141	29,683
為替換算調整勘定	△233,036	△273,730
退職給付に係る調整累計額	△25,210	△23,778
その他の包括利益累計額合計	△225,105	△267,826
純資産合計	12,185,358	12,532,250
負債純資産合計	19,101,540	19,122,046

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
売上高	8,762,952	9,789,065
売上原価	5,900,673	6,317,406
売上総利益	2,862,279	3,471,658
販売費及び一般管理費	2,175,001	2,397,089
営業利益	687,277	1,074,568
営業外収益		
受取利息	1,043	1,376
受取技術料	4,570	8,625
保険解約返戻金	18,424	—
その他	15,751	14,819
営業外収益合計	39,790	24,820
営業外費用		
支払利息	1,401	895
為替差損	15,343	5,699
その他	1,375	1,094
営業外費用合計	18,120	7,688
経常利益	708,947	1,091,700
特別利益		
固定資産売却益	7,661	—
投資有価証券売却益	14,936	—
特別利益合計	22,597	—
特別損失		
固定資産除却損	1,045	69
減損損失	1,616	—
固定資産売却損	—	1,918
役員退職慰労金	250,000	—
特別損失合計	252,661	1,988
税金等調整前四半期純利益	478,882	1,089,711
法人税等	172,517	355,208
四半期純利益	306,365	734,503
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,365	734,503



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	306,365	734,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,385	△3,457
為替換算調整勘定	△306,458	△40,694
退職給付に係る調整額	723	1,431
その他の包括利益合計	△307,120	△42,720
四半期包括利益	△755	691,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△755	691,782

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	478,882	1,089,711
減価償却費	155,646	171,927
減損損失	1,616	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△72,126	△28,213
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,500	△43,400
受取利息及び受取配当金	△4,826	△6,125
支払利息	1,401	895
為替差損益 (△は益)	14,028	3,644
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,661	1,918
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14,936	—
保険解約損益 (△は益)	△18,424	—
売上債権の増減額 (△は増加)	626,949	△632,769
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,326,134	△602,841
その他の資産の増減額 (△は増加)	△48,053	176,983
仕入債務の増減額 (△は減少)	774,762	306,906
前受金の増減額 (△は減少)	1,281,051	△113,713
その他の負債の増減額 (△は減少)	△353,470	△249,206
その他	△4,348	146
小計	1,463,856	75,863
利息及び配当金の受取額	4,826	6,125
利息の支払額	△1,401	△895
法人税等の還付額	107,906	4,282
法人税等の支払額	△94,638	△460,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,480,549	△375,154
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△342,315	△228,133
有形固定資産の売却による収入	18,139	8,079
無形固定資産の取得による支出	—	△430
投資有価証券の取得による支出	△1,118	△1,135
投資有価証券の売却による収入	19,256	—
保険積立金の積立による支出	△1,242	△2,913
保険積立金の解約による収入	38,281	—
差入保証金の差入による支出	△10	△328
差入保証金の回収による収入	369	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268,639	△224,852
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△31,706	△24,902
配当金の支払額	△215,445	△343,374
自己株式の取得による支出	△47	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247,198	△368,276
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106,605	△14,066
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	858,104	△982,349
現金及び現金同等物の期首残高	4,042,296	6,982,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,900,401	6,000,472

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,697,876	3,065,076	8,762,952	—	8,762,952
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,697,876	3,065,076	8,762,952	—	8,762,952
セグメント利益	567,585	357,042	924,628	△237,350	687,277

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△237,350千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械」セグメントにおいて、「企業結合に関する会計基準」等を過去の期間のすべてに遡及適用した場合の第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を、資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。当該事象により、第1四半期連結会計期間の期首において、のれんが77,159千円減少しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
7,208,667	925,543	179,089	244,632	205,020	8,762,952

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,171,574	2,617,490	9,789,065	—	9,789,065
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,171,574	2,617,490	9,789,065	—	9,789,065
セグメント利益	868,853	420,960	1,289,814	△215,245	1,074,568

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△215,245千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
7,109,219	647,904	472,121	1,020,450	539,368	9,789,065

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他……アジア等

### 3. 補足情報

● 受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	8,406,698	124.9	5,984,924	71.2
化成品部門	1,198,762	105.1	221,420	18.5
合計	9,605,460	122.0	6,206,344	64.6

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	9,765,937	112.6	7,465,447	76.4
化成品部門	453,804	91.3	94,168	20.8
合計	10,219,742	111.4	7,559,615	74.0

(注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。

2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	5,697,876	65.0	7,171,574	73.3
化成品部門	3,065,076	35.0	2,617,490	26.7
合計	8,762,952	100.0	9,789,065	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。